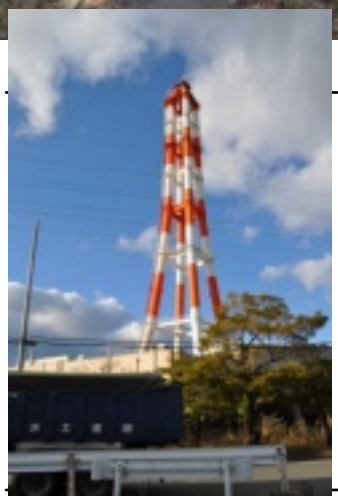
平和町跡を歩く

初冬の平和町跡

線路と並木道が並行して続きます。道にはドングリが敷き詰めたように落ちています。



町の中央当たりの階段は今もきれいに残っています。遊歩道の西の方は特に騒音がひどくてずっとジェット機のエンジン音のような音がしています。

その昔、公害の激しかった頃はこのような工場の騒音といつものように走る救急車や消防車の音が交錯したと言います。基本的にその姿は変わっていません。

線路の終点を示す縦杭が残っていました。でも線路はその先もずっと続いて本当に切れているところまではしばらく歩かないと着きません。東西に長い町だったのですね。人びとが居住したところは木が生えうっそうとしてなかなか入れませんが木々が紅葉してきれいなところもあります。

線路に入った直後から「ひっき虫」に悩まされ、まるで鎧を着た姿になり、それを取るのに費やすこと数十分。そいつの名は「コセンダングサ」江戸時代の帰化種らしい。

編集後記

▼本当に読者の皆さん、寄稿してくださる皆さん、磯津・楠の方々、友人に支えられて年を越します。ありがとうございます。

▼今回は年に一回の振込用紙を入れさせていただきました。可能な限りでご協力ください。

▼忘年会の季節ですね。月初めスキー仲間と呑みました。もう、飲んでるだけで滑りに行きません。

▼この頃、現職の頃の夢をよく見ます。なんかまだセンセイの続きをしてるのでしょうか。でも四色ボールペンの赤色が全然減らなくなりました。

▼我が家の畑のサニーレタスが取れ立てのパリパリで、それに北海道の友人が贈ってくださるサロマ湖産のシマエビをはさんで。至福の時です。

▼お絵描き（日本画）の時間がなんとも楽しくて。ちっとも予習もおさらいもして行かない劣等生ですが、教室で無心になって描く時間、先輩たちのやさしく厳しい声かけ。すごく心がいっぱいになる時間です。

▼今日、１６日は投票日。今回は何人かの昔の保護者とも話しましたが、やはり二〇代の若々しい教え子たちと話していると、その初々しいさにこちらまでウキウキしますね。戦争をする国はいやです。

▼磯津のよそ者が偉そうに市に出かけたり、避難所を見たり、何かスミマセン。そんなとき西野さんのような親子に出会ったり、英生さんと歩くと少し磯津の仲間に入れていただいた気持ちになるのです。

▼凧作り、連凧上げ。少し恒例になってきたかなあ。正月どうぞいらして下さい。磯津の海のかなたに長い希望の筋が延びていきます。

《　連絡・情報提供先　090-4269-0965　hagi1922@tcp-ip.or.jp 磯津環境学校情報室　》